

商工会だより

第210号

令和8年2月1日
揖斐川町商工会
揖斐川町上南方165-1 TEL 22-6185 FAX 22-2561
URL <https://www.gifushoko.or.jp/ibigawa/>

新春経営者懇談会

1月23日(金)に、新春経営者懇談会を揖斐川丘苑で開催しました。今年は61名(内来賓10名)が参加し、地域経済や産業の現状と展望について活発な意見交換が行われ、現代ビジネスの変化に対応するための取り組みや工夫、方針等について各自の経験や知見を共有することができました。



ご出席いただきました皆様に心より御礼申し上げますとともに、今後も揖斐川町商工会では、会員事業所の皆様と役職員が一丸となり、関係機関と連携しながら、地域経済の発展と持続可能な地域づくりに向けて取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

税務

☆確定申告個別指導

先般、「令和7年分 決算及び所得税・消費税確定申告個別指導」に関するご案内を致しました。

会員の皆様の待ち時間を減らし効率的に運営をするため、2月16日～3月4日の期間は完全予約制とさせていただきます。

すでに、多くの予約を頂いており、残りの予約枠が少なくなっております。
お早めにお電話等で予約をお願い致します。

※3月5日～3月16日の期間は受付順で対応致します。

1. 期 間 令和8年2月16日(月)～3月4日(水)
2. 予約時間 以下の時間帯で予約が可能です。
 - ・午前の部 ①10:00～12:00
 - ・午後の部 ②13:00～15:00 ③15:00～17:00
3. 場 所 揖斐川町商工会館1階大研修室
4. 予約方法 電話等でご連絡願います。
5. その他 予約は受付順とさせていただきます。
希望日時での予約が出来ない場合がありますので、ご了承ください。

女性部揖斐川支部

☆図書寄贈式

1月26日（月）、商工会女性部揖斐川支部では、今年度「元気が出る」をテーマに、親子で一緒に楽しみながら学んでいただける本18冊を寄贈しました。

この取り組みは、2016年（平成28年）から、チャリティーバザーの収益金の一部を活用し、揖斐川町の子どもたちへ児童向けの本をお届けしているものです。

寄贈した本は、揖斐川図書館の専用コーナーで借りることができ、親子で楽しい時間を過ごしていただければと願っています。これからも地域の子育てを応援しながら、子どもたちの成長や学びに少しでもお役に立てるよう、継続して取り組んでまいります。



金融

☆金融相談

昨今、物価上昇、エネルギー・原油価格の高騰、税負担の増加などにより、小規模事業者を取り巻く環境は厳しさを増しています。借入の申込、資金繰りの相談、返済条件の見直しの相談などを承ります。まずはお気軽にご連絡ください。

相談で対応できること

- ・普通貸付、マル経融資の申込支援
- ・運転資金や設備資金の相談、資金繰り改善の提案
- ・返済条件の変更等

予約について

時間調整や準備のため、相談をご希望の方は事前に商工会へご連絡ください。

制度名	利率	貸付限度額	貸付期間	説明
普通貸付	基準 3.20%～4.70% (決算を2期終えている方) 3.10%～4.60% (決算を2期終えていない方)	4,800万円	運転資金 5年以内 (特に必要な場合7年以内)	担保を不要とする融資
	基準 2.20%～4.30%		設備資金 10年以内	
マル経融資 (小規模事業者経営改善資金)	2.30%	2,000万円	運転資金 7年以内 設備資金 10年以内	保証人、担保は不要 (商工会の金融審査会の推薦が必要です)

※上記は本誌を作成中の令和8年1月時点の情報であり、変動する場合があります。

商品券

☆プレミアム商品券加盟店の皆様へ

「令和7年度 揖斐川町プレミアム商品券」の取り扱いについては下記のとおりとなっています。特に、換金期限についてご注意ください！

顧客による商品券使用の有効期限	加盟店による金融機関への換金期限
令和8年1月31日(土)	令和8年2月13日(金)

換金期限後は換金することができません！

イベント出店について

☆理事会承認事項の報告

会員事業者におかれましては、揖斐川町商工会の「地域振興事業（お祭り・イベント行事）」活動に賛同・協力を頂き、誠にありがとうございます。

令和7年12月15日に開催しました、「令和7年度 第3回 揖斐川町商工会理事会」で、下記の議案が可決されました。

1. イベント(いびがわの祭り・産業フェスティバル)への出店資格基準について、当該イベント開催年の4月1日現在で当商工会の会員であること、又は4月1日までに会員の申し込みをした者であることを出店の条件とする。
2. 令和8年4月1日以降のイベントから適用する。

この出店資格基準の新設は、出店希望者への公平性を保ちつつ、イベント全体の質を向上させながら、地域経済の活性化に繋げていくことを目的としていますので、ご理解ご協力の程、よろしくお願い致します。

共済

中小企業経営者の
みなさまへ

国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

●制度の特長

- 1 経営者のための退職金制度
- 2 掛金は全額所得控除
- 3 受取時も税制メリット

他にもこんな特徴があります。

- 月々の掛金は1,000円から
- 契約者貸し付けの利用が可能
- 共済金の受給権は差押禁止

経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

- 1 掛金の10倍の範囲内で
最高8,000万円まで貸付け
- 2 貸付条件は
無担保・無保証人
- 3 掛金は税法上損金(法人)または
必要経費(個人事業)に

共済相談室 TEL. 050-5541-7171 【受付時間】平日 9:00~17:00

Be a Great Small.
中小機構

オンラインで
加入申込み
受付中

加入後の一部手続きもオンラインで可能。
制度の詳細内容は2次元コード又はホームページからご確認ください。

小規模企業共済

小規模共済

検索

経営セーフティ共済

経営セーフティ共済

検索



2024.8

小規模企業景気動向調査 [2025年11月期調査]

～横ばい推移の中で回復の兆し、支援への期待が高まる小規模企業景況～

<産業全体>

11月期の産業全体の景況は、全DIがわずかに上昇した。前年ベースでは若干低下したが、直近1年間で極端な変化はなく安定的に推移しており、一部で需要が戻りつつあるとの声があった。一方で、依然として物価上昇や人件費増加、最低賃金引上げにより事業継続に厳しさを感じている事業者も多く、国や都道府県による物価高対策に期待する声が散見された。

	DI	10月	11月	前月比	前年 同月比
売上額		5.0	6.7	1.7	▲ 0.8
採算	▲ 18.8	▲ 17.4	1.4	▲ 2.0	
資金繰り	▲ 15.0	▲ 14.4	0.6	▲ 1.5	
業況	▲ 14.5	▲ 13.7	0.8	▲ 2.8	

<製造業(食料品、繊維、機械・金属)>全DIが上昇も価格転嫁が課題、採算悪化に苦しむ製造業

製造業は売上額・資金繰り・業況DIが小幅に上昇、採算DIはわずかに上昇した。食料品、機械・金属関連は全DIが上昇したが、繊維関連は業況DIを除き低下した。機械・金属関連は、採算DIが直近1年間で最高値を記録したが、原材料費や燃料費等の高騰に苦しむ声は止まない。最低賃金の引き上げも経営悪化に拍車をかける中、価格転嫁、取引適正化の徹底が課題であり、2026年1月の取適法施行による取引環境の改善を期待したい。

	DI	10月	11月	前月比	前年 同月比
売上額		6.7	8.8	2.1	▲ 1.6
採算	▲ 20.2	▲ 19.3	0.9	▲ 4.1	
資金繰り	▲ 17.1	▲ 14.8	2.3	▲ 3.0	
業況	▲ 17.3	▲ 13.6	3.7	▲ 2.3	

<建設業>年末需要から業況回復、人手確保や安定受注に注力する建設業

建設業は、全DIが小幅に上昇した。年末需要により受注が増加している等の声もあり、前月の悪化から一転して改善したが、人手不足による失注や資材等の高騰による利益減少に苦しむ声はより顕著になっている。地域によっては公共工事の受注が停滞ないし減少しており、新築工事の需要も少ないとの声が散見される中、市外・県外での受注が可能な事業者と、対応が困難な事業者との間で、業況の二極化が進んでいる様子がうかがえる。

	DI	10月	11月	前月比	前年 同月比
売上額		9.3	11.3	2.0	▲ 2.1
採算	▲ 17.2	▲ 14.5	2.7	▲ 0.2	
資金繰り	▲ 16.5	▲ 12.6	3.9	0.6	
業況	▲ 11.6	▲ 9.6	2.0	▲ 0.8	

<小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)>回復の兆しが見えるも、コスト高等不安定さが残る小売業

小売業は、採算DIが小幅に上昇、売上額・業況DIはわずかに上昇し、資金繰りDIはわずかに低下した。耐久消費財関連は、6カ月ぶりに売上額DIが0ポイントを下回った。暖房機器の買い替え等、一定の需要はあったが、業界全体の押し上げには至らなかった。食料品・衣料品関連では、売上は増加したが、仕入価格も上昇しており、顧客の節約志向による買い控えが続く中、資金繰りに苦慮しているとの声が散見された。

	DI	10月	11月	前月比	前年 同月比
売上額		1.0	2.8	1.8	4.0
採算	▲ 22.5	▲ 19.7	2.8	1.4	
資金繰り	▲ 16.3	▲ 17.4	▲ 1.1	0.2	
業況	▲ 19.8	▲ 17.9	1.9	0.2	

<サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)>行楽需要も、価格転嫁と利用減で慎重な見通し続くサービス業

他業種が比較的好調に推移する中、サービス業は、売上額DIがわずかに上昇、採算DIがわずかに低下し、資金繰り・業況DIは小幅に低下した。クリーニング及び理・美容関連では、価格転嫁が進みつつあるが、その分利用頻度が低下しているとの声もあり、ほぼすべてのDIが低下した。旅館業では、秋の行楽需要により売上・採算で若干の改善が見られたが、一部でインバウンド需要の減少を懸念する声も見られた。

	DI	10月	11月	前月比	前年 同月比
売上額		3.0	3.9	0.9	▲ 3.5
採算	▲ 15.1	▲ 16.3	▲ 1.2	▲ 5.3	
資金繰り	▲ 10.4	▲ 12.8	▲ 2.4	▲ 4.1	
業況	▲ 9.3	▲ 13.6	▲ 4.3	▲ 7.9	

調査概要

- ・調査対象: 全国 303 商工会の経営指導員 (有効回答数: 249 / 回答率 82.2%)
- ・調査時点: 2025年11月末
- ・調査方法: 対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式
- ※ DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。